

読書感想文紹介シリーズ④

明子に出会って

四年三組 松

尾 夏 希



わたしは、この本（お母さんは、看護婦さん）を読んで、お母さんが働いている家は、大へんだなあと思いました。

主人公の明子は、十一才でお母さんは看護婦さんです。お母さんが夜きんの時は夕飯を作ったり、弟をねかしたりと、ほとんどお母さんの役を明子が行っていました。

わたしは、自分だったら一人で家のことを全部やっけて一人でおねるなんてできるかなあと思います。

明子は、わたしより一ツ年上だからです。でも、ある日、明子は、自分が何から何までやらなくてはいけないことに頭に来てしまい、新聞に「夜きんへらして」という題で、「木村みどり」という名を使って父母にないしょで投書しました。

でも、あとで母に「ありがと、みどりちゃん」と言われた時は、びっくりしたでしょう、きっとわたしは、ばれたら、きっとお母さんはおこるだろうと思っていたのに、お母さんが言った言葉は、一言だけでした。「みどりちゃん、ありがと」と。

しかし、きつと心の中で本当に明子にめいわくをかけていた、とつぶやいていたのではないかと思います。ごめんね、明子といいたい気持ちでいっぱいだったのではないのでしょうか。

明子の投書に感動した人が、たくさんのお手紙を送ってきました。

明子は、自分の「夜きん」をへらしてほしい、母といっしょにいる時間をもらいたいという考えを聞いてもらうために投書しました。すこく明子は、勇気があります。

とうとう、明子は、院長先生に願いを聞いてもらい、お母さんの夜きんをへらしてもらえました。こんなにがんばっている

子がいるなら、わたしも、がんばって明子のようにお手伝いをしたいと思います。明子、これからもがんばって下さいね。

自然に親しむ親子のつどい

- ・地引き網と山野草調査
- ・期 日 4月30日(土)～5月1日(日)
- ・参加対象 小・中学生とその親100人
- ・申し込み 問い合わせ 町中条 北蒲原郡自然の家 乙字大日裏 千959-26
- ・申し込み 自然の家 新潟県少年自然の家 TEL 0254-46-2224

鮭の稚魚を放流 横小いきいきスクール

横越小学校は、いきいきスクールとして、平成五年度から三か年計画で体験学習を実践しています。

総会で活動の再構築を確認 村連合婦人会



交通安全優良団体表彰を受ける佐久間会長

村連合婦人会(佐久間順会長 会員三百五十二人)では、二月二十七日(日)、中央公民館で二百人余の会員が参加して平成六年度の総会を開催しました。

その後、川柳家・テレビ川柳選評者の下村梵先生から「ユーモアについて」という演題で記念講演がありフランス、イギリスやアメリカなどの国民と日本の国民とのユーモア比較論を展開し、また、自分の娘の留学なども引きあいにしなから、「マジばかりでなく日常生活にもっとユーモアで生きてみたらどうでしょう」という内容で爆笑の中にも「なるほど」と参加者は、感心していました。

- その後、川柳家・テレビ川柳選評者の下村梵先生から「ユーモアについて」という演題で記念講演がありフランス、イギリスやアメリカなどの国民と日本の国民とのユーモア比較論を展開し、また、自分の娘の留学なども引きあいにしなから、「マジばかりでなく日常生活にもっとユーモアで生きてみたらどうでしょう」という内容で爆笑の中にも「なるほど」と参加者は、感心していました。
- 議事にはいり、この一年間、婦人会では交通安全運動や廃品回収などの地域奉仕活動を行ってきましたが、これまでを見直し平成六年度に活動を再構築することを確認しました。
- 議事終了後、福引やレク
- 交通安全関係表彰
 - ・交通安全優良団体関東管区表彰 村連合婦人会
 - ・交通安全賞 緑十字銅賞 日黒 幸子(木津)
 - 連合婦人会永年勤続役員表彰 5名
 - ・15年表彰
 - 帆刈 トシミ(横越)
 - 五十嵐 スミイ(川根谷内)
 - 入山 ミイ(川根谷内)
 - 藤田 キヨエ(小杉)
 - 渡辺 キヨノ(小杉)
 - ・10年表彰 5名
 - 戸松 節(木津)
 - 佐藤 雅子(小杉)
 - 鈴木 スミエ(小杉)
 - 豊崎 トミ(小杉)

社会教育ガイド

4月の中央公民館事業

女性教養セミナー

期日 4月16日(日)
時間 午前9時30分
講師 高橋ハナ氏

菊作り講座

期日 4月22日(金)
時間 午後1時30分
講師 長井貞氏

短歌募集

歌題 自由
締切日 4月30日(土)
投稿方法
はがきまたは封書で6首以内、紙上筆名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記
あて先 横越村中央公民館「文芸作品係」

「私の心に残る先生のことば集」
5月上旬に文集を発行
中央公民館女性教養セミナー



ワープロで編集するセミナー員

村中央公民館女性教養セミナーでは、昨年十月に行ったリサイクルバザーの収益金をもとに「私の心に残る先生のことば集」の発行にむけ、現在取り組んでいます。

これは、村の子供達を健康やかに育むために、いろいろな方から、心に残る先生のことばの原稿を寄稿していただいで、それを編集しているもので、文集発行は五月上旬の予定です。

借りて読んで下さい
中央公民館購入図書案内

潮流	伊集院	静夫
どくどるマンボウ医局記	北本	杜ばな
アムリタ(上・下)	吉筒	本井
断筆宣言への軌跡	武渡	村辺
小さくともキラリと光る国、日本	尾浜	瀬田
風のように、母のたより	橋	本
夏子の酒読本	斎	アサ
永田町、あの子の話		ブロッ
VISION OF JAPAN		ク
マーフィーの法則		茂
嫁と姑は名優たれ		太

方言	標準語	用途・その他
ドクサレ	おく病者	ドクサレで使いに行けない
トントキ	粗ごつ者	トントキでうっかり頼めない
ナンカン	きかん坊	ナンカンで手に余る
ネーツイ	けち	ネーツイで話がわからない
ネマラル	座る	ネラうるさいぞ
ネメシ	お前達	あれはノメシコキだ
ハジケグリ	怠ける	ハジケコキとも言
	よけいな手や口を出す	

横越方言けんぶんろく⑩
○人体・その他

(横越村の民俗より 著者 曾我廣見さん)

文芸欄

短歌

年毎に一句添えくる友よりの賀状を待り
元旦の朝 (小杉) 小田 トキイ
朝の陽に八手の花の透明にこおりて光る (木津) 佐藤 安衛
庭におりたり 衰えし視力を注ぐ鉛筆の走り確かむ (沢海) 渋谷 ウタ
原稿用紙 かざられし店舗であれど野菜売る生活の支い (沢海) 清水 雅美
今日大晦日 魅せられて藍の深きに止む足陶器のつぶやき (沢海) 高橋 一夫
聞こゆる思い 眠られぬままに夜明けをむかえたり点滴滴ませば (横越) 田村 清次郎
また夜がくる 死にゆきし君は話にのぼるなし垣根のもとに (藤山) 田村 忠雄
茶の花ひらく 岩風呂の湯はあふれつつ湯煙をあげて谷なる (小杉) 中川 マツノ
川へ流るる 裏庭のひばの垣根の下陰に黒ぼく覗く (横越) 中村 チョイ
ふきの芽をみつ 過当競争の中間にせめぎ合いしこと忘れて (新潟市) 細山 四郎
夜の新年会に

沢海の土曜クラブを
リサイクルバザーを開催

不用品のリサイクル活動として広まったリサイクルバザー(フリーマーケット)を、沢海で次のとおり開催することになりました。

古着、古本、日用雑貨、野菜、花、わたあめ等をそろえています。

会場の一部には、喫茶コーナーを設けお茶やお菓子のサービスもあります。

ゴールデンウィークの初

日時 四月二十九日(金) 祝日 午前十時から午後三時

会場 沢海・夢がしチューリップTouriP'94会場

問い合わせ先 夕方五時以後 土曜クラブ 目黒さち子さん(電話三八五二四八四)まで。